

平成 27 年度 つくば市民意識調査 概要

1 調査の概要

■調査の目的

本調査は、つくば市の現状やまちづくりの取組に対する評価や満足度、市民が重要と感じている施策、社会情勢から重点的な取組が必要な課題について、市民の意向などを把握することを目的として実施した。

本調査の結果は、今後の市政運営と施策実施の基礎資料として活用する。

■調査期間

平成 27 年 11 月 4 日～平成 27 年 11 月 24 日

■調査対象

住民基本台帳に記載された 18 歳以上の男女 2,400 人を層化無作為抽出法により抽出

■調査方法

郵送配布・回収（※希望者は web 回答も可）

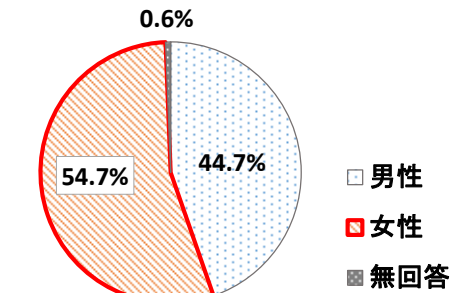
■回収状況

発送数：2,400 通、回収数：1,233 通 回収率：51.4%

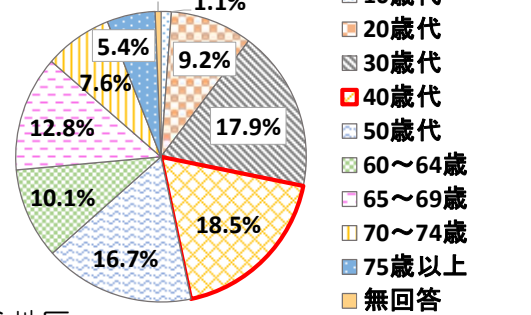
（※前回調査（H25）回収数：1,318 通）

2 回答者の属性

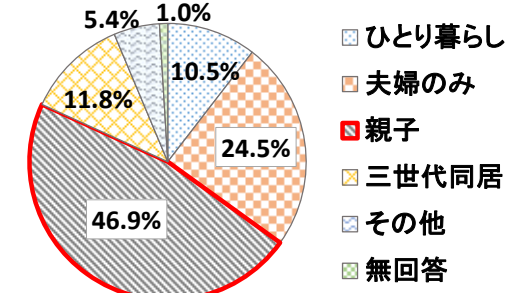
■性別



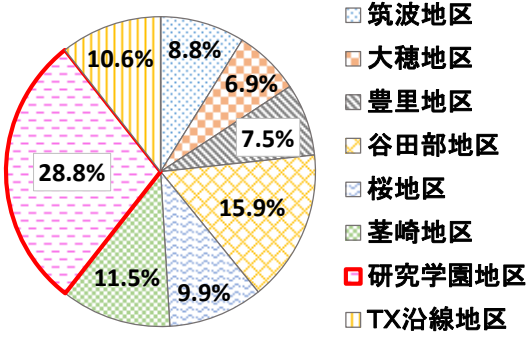
■年齢構成



■世帯構成

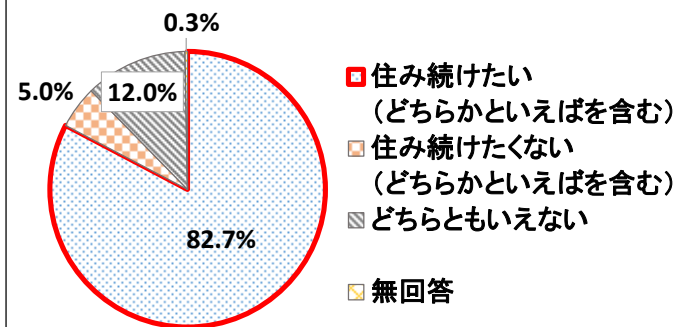


■居住地区

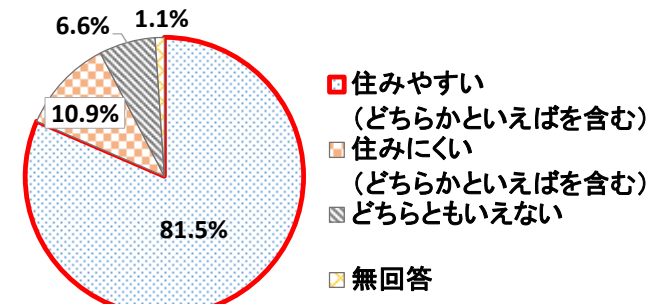


3 住環境について

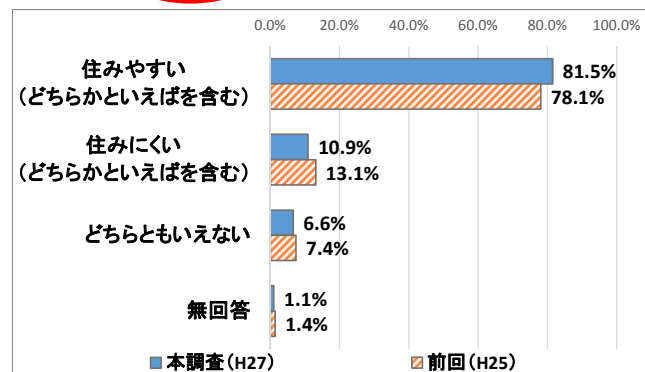
■定住意向（問3）



■住み心地（問4）

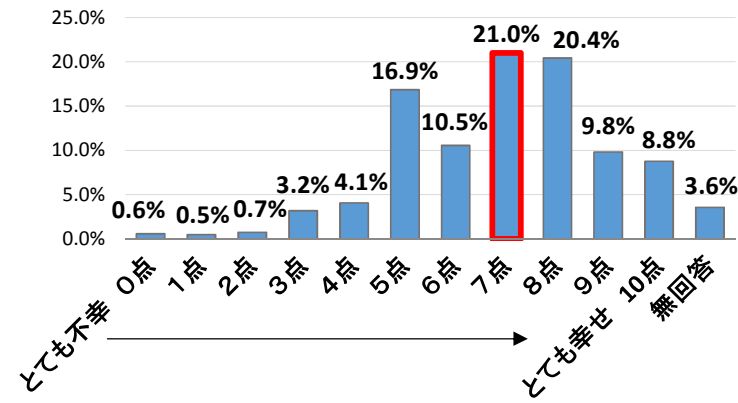


●住みやすい理由は、1位が「豊かな自然」、2位が「日常生活が便利」となっており、過年度調査と比べると、「住み慣れている」が増加している。
●一方、住みにくい理由は、「交通の便が悪い」や「日常生活が不便」となっている。

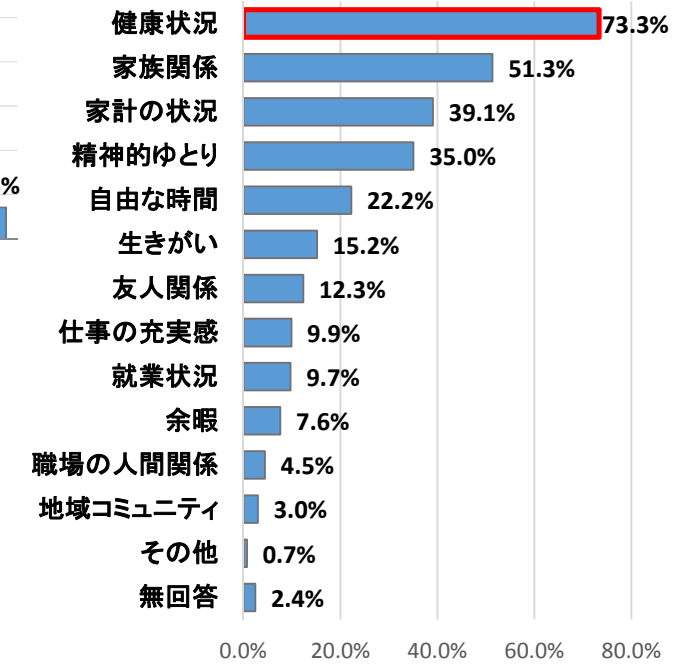


4 あなたの普段の生活について

■幸福度（問9）



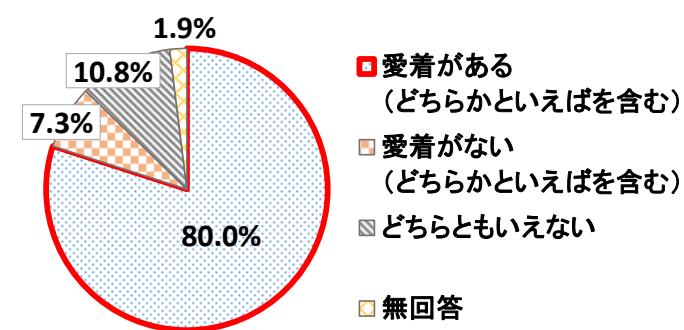
■幸福度の判断基準（問10）（複数回答：3つまで）



●幸福度は、「7点」が21.0%で最も多く、次いで「8点」が20.4%、全体の平均値は6.86点となっている。
●幸福感を判断する際に重視することは、1位が「健康状況」、2位が「家族関係」、3位が「家計の状況」となっている。

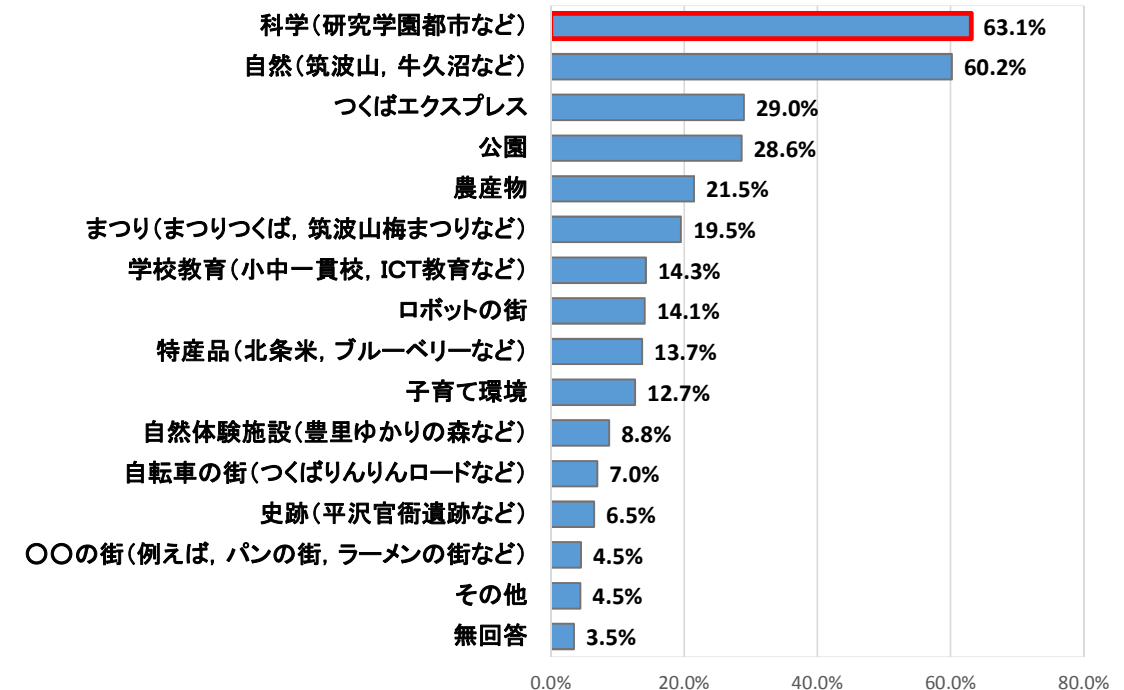
5 つくば市への愛着について

■つくば市への愛着（問18）

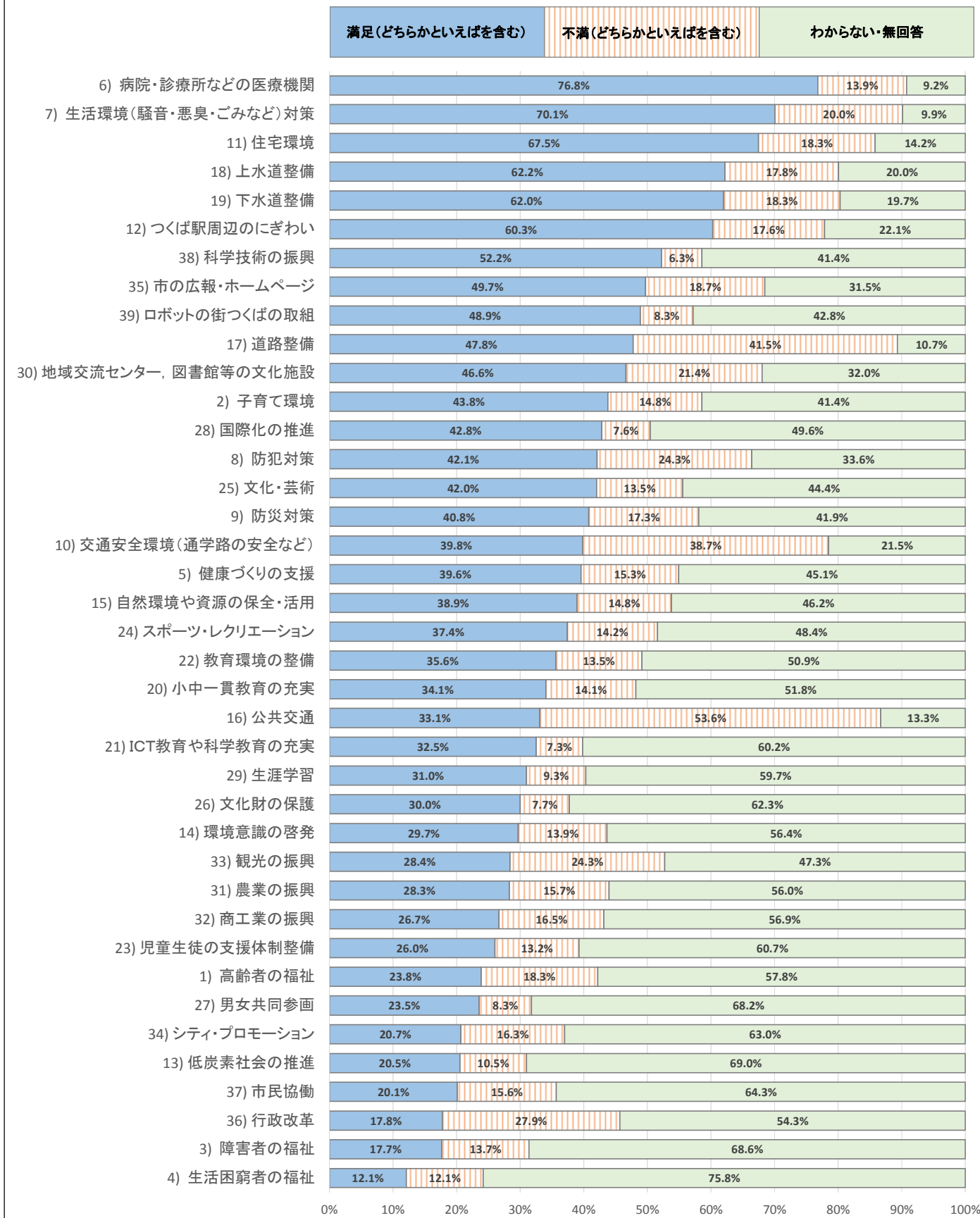


●つくば市への愛着は、80.0%が「愛着がある」となっている。
●市外の友人に紹介したいと思うつくば市の魅力は、1位が「科学（研究学園都市、研究機関の見学施設など）」、2位が「自然（筑波山、牛久沼など）」、3位が「つくばエクスプレス」となっている。

■市外の友人に紹介したい（自慢したい）つくば市の魅力（問19）（複数回答）



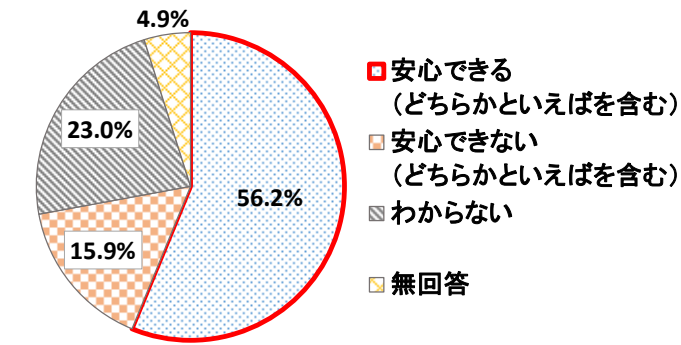
6 まちづくりの取組に関する満足度について（問 20）



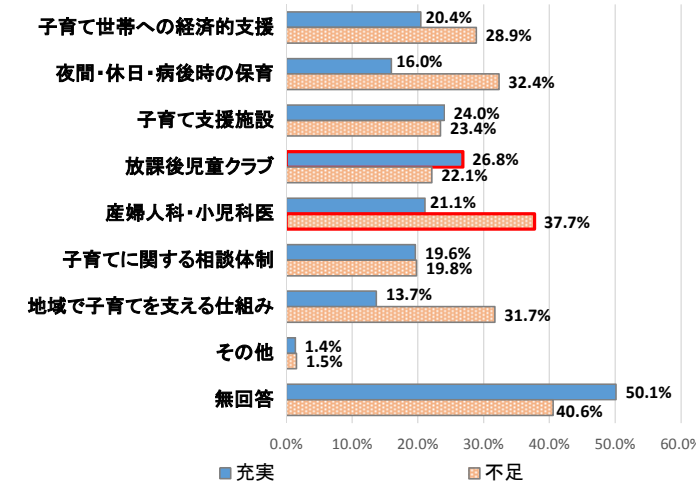
●「満足」の回答割合を見ると、「病院・診療所などの医療機関」、「生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策」が70%を超えている。一方で、「不満」の回答割合を見ると、「公共交通」、「道路整備」、「交通安全環境（通学路の安全など）」が30%を超えている。

7 少子高齢化への取組について

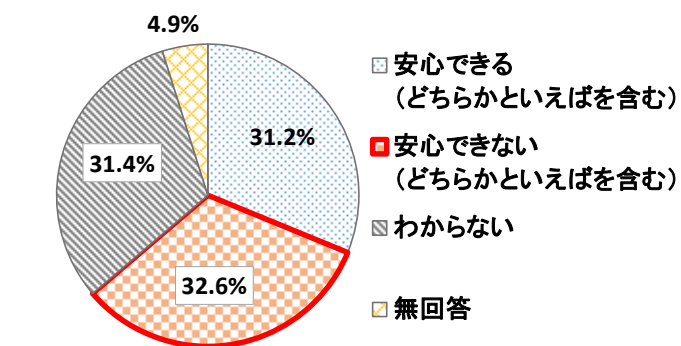
■子育て環境について（問 22, 問 23）



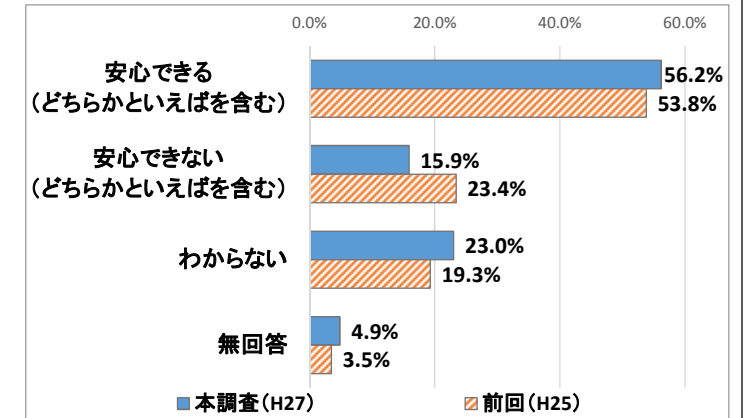
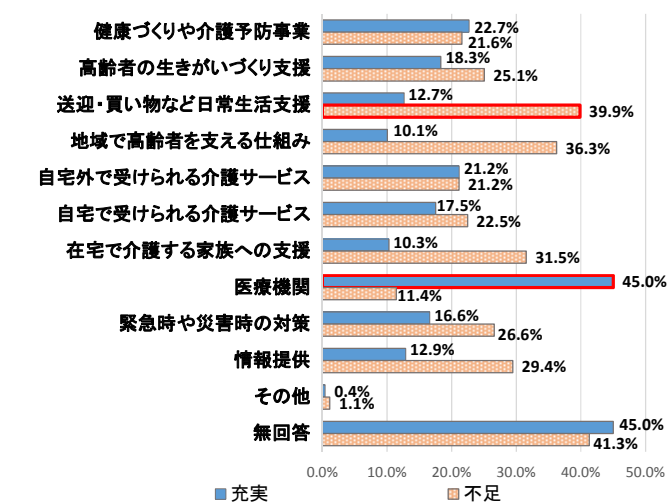
＜充実／不足していると思うもの＞（複数回答）



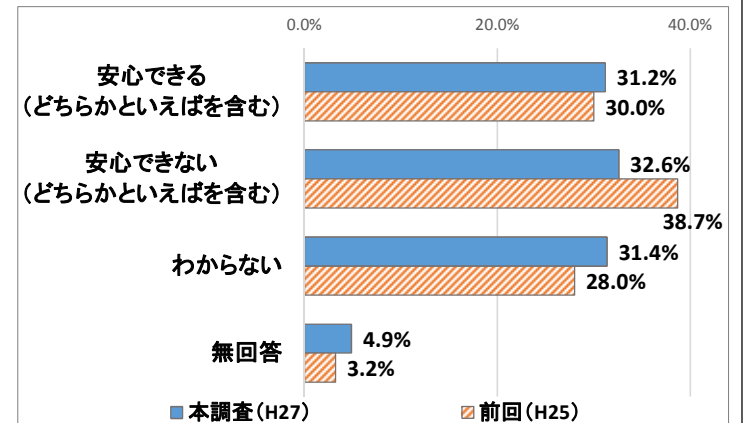
■高齢者の生活環境について（問 24, 問 25）



＜充実／不足していると思うもの＞（複数回答）



●子育て環境について、「安心できる」が50%を超えている。過年度調査と比べると、「安心できない」が減少している。
●充実しているものは、「放課後児童クラブ」が26.8%で最も多く、次いで「子育て支援施設」が24.0%となっている。
●不足しているものは、「産婦人科・小児科医」が37.7%で最も多く、次いで「夜間・休日・病後時の保育」が32.4%となっている。



●高齢者の生活環境について、「安心できる」、「安心できない」及び「わからない」がほぼ同数となっている。
●充実しているものは、「医療機関」が45.0%で最も多く、次いで「健康づくりや介護予防事業」が22.7%となっている。
●不足しているものは、「送迎・買い物など日常生活支援」が39.9%で最も多く、次いで、「地域で高齢者を支える仕組み」が36.3%となっている。